

杉山神社フォーラムⅣ



2021年12月11日(土) 13:00 ~ 16:00
(12:30 開場)

定員 300名 入場無料 (資料代は別途いただきます)

会場：横浜市港北公会堂 東急東横線 大倉山駅 徒歩7分 港北区役所隣
バス 港北区総合庁舎前 下車



今回杉山神社フォーラムⅣでは、過去3回のフォーラムにおいて参加者から要望のあったテーマについて、諸氏の見解を述べていただくことにしました。

考古学がご専門の古屋紀之氏には「杉山神社の祭神が暗示する鶴見川流域における山と海の文化交流について」。古代鉄文化の専門家伊藤薫氏には「杉山神社と流域の鉄文化について」。また、大規模水害の再発を避けるには「“流域思考”が必要」と訴える岸由二氏には「杉山神社考の主題であった海上からの文化伝播について」。*テーマは変更になる場合があります。尚、ディスカッションのコーディネーターを大倉山記念館の平井誠二氏にお願いしました。



- 講演 13:10 古屋 紀之 ((公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター)
14:00 岡田 誠治 (麻生歴史の会)
14:25 伊藤 薫 (日鐵テクノロジー(株))
14:40 岸 由二 (NPO法人鶴見川流域ネットワークング・慶應義塾大学名誉教授)

討論会 15:15

コーディネーター 平井 誠二 ((公財)大倉精神文化研究所 所長)

総合司会 臼井 義幸 (篠原城と緑を守る会・鶴見川舟運復活プロジェクト) (敬称略)

連絡先

〒222-0026 横浜市港北区篠原町 2754 長福寺気付 篠原城と緑を守る会

Eメール mamoru@shinoharajo.yokohama

Webサイト <http://shinoharajo.yokohama/>



主催 篠原城と緑を守る会 共催 鶴見川舟運復活プロジェクト
後援 横浜市港北区役所 <当会は「地域のチカラ・パートナーシップ」として後援を受けています。>
横浜郷土史団体連絡協議会 (株)タウンニュース社

背景：不動明王(梵字)